

<http://www.pocketcard.co.jp>



◀ トップページ

IR情報、
IRに関するお問い合わせに
当社ホームページをご活用ください。



TOPICS

当社の最新情報をご覧ください。



IRライブラリー

決算資料、年次報告書等がご覧いただけます。

IRお問い合わせ

個人投資家の皆さまからよく寄せられる質問をご紹介します。

— 株主の皆さまからの声をお待ちしています —

当社では、株主の皆さまからのご意見・ご質問をお受けしています。株式手続き関係のご質問や、その他のご意見、ご要望がございましたら、同封のアンケートハガキ、またはeメール等でお気軽にお寄せください。

お問い合わせ先 e-mail:koho@pocketcard.co.jp

POCKET CARD

第30期 中間報告書

2011年3月1日～2011年8月31日

ビジネスモデルの転換と、業務の効率化を推進し、
収益性の高い強固な事業体制の構築を目指します

株主の皆さまにおかれましては、平素よりご支援を賜り、深く御礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による影響があったものの、サプライチェーンの立て直しや各種政策の効果などを背景に景気は持ち直しつつあります。しかしながら原発事故に伴う電力供給の制約や復興の遅れ、急激な円高の進行など、景気の下振れリスクが表れており、先行き不透明感が高まっています。

クレジットカード業界につきましては、ショッピングは、震災直後、被災地域を中心に取扱高が一時的に落ち込んだものの、その後は回復基調を取り戻しています。一方、キャッシングは、総量規制の影響等により融資残高、取扱高が減少するなど、引き続き厳しい環境で推移しました。

このような中、当社は①融資収益に偏らないバランスのとれた収益構造の実現、②業務効率化・コスト削減の継続的な実施、③ファミマクレジット(株)との合併に向けた取り組み、を着実に進め、収益性の高い、より強固な事業体制の構築を目指してまいります。



代表取締役社長

渡辺 恵一

当第2四半期連結累計期間の業績について

当第2四半期連結累計期間の営業収益は、ファミマクレジット(株)の連結子会社化に伴い、信用購入あっせん収益が76億51百万円となったほか、その他の収益では、カード会員向け保険商品の取り扱い拡大により保険代理店収入が順調に拡大するなど、堅調に推移しました。一方、融資残高、取扱高の減少により、融資収益は92億38百万円となりました。これらの結果、営業収益全体では181億21百万円となりました。

営業費用につきましては、弁護士等による新規介入債権の減少に伴い貸倒関連費用が減少したほか、特典及びサービスの適正化や業務効率化に伴う各種コスト削減の推進等により、157億52百万円となりました。

これらの結果、営業利益は23億69百万円、経常利益は23億21百万円、四半期純利益は18億31百万円となりました。

通期の業績予想の修正について

当社は9月16日付で公表しましたとおり、通期の業績予想を修正いたしました。

修正内容については、収益面ではファミマクレジット(株)との統合により信用購入あっせん収益は順調に推移するものの、下期もキャッシング残高の減少に伴う融資収益の減少が見込まれることから、営業収益全体では期初予想373億円から4.3%減の357億円に修正いたしました。

一方、利益面では上期業績の上方修正の主な要因でもあった、新規介入の減少に伴う貸倒関連費用の減少、特典・サービスの見直し等による各種コスト削減の進展等により、引き続き営業費用の減少が見込まれることから、営業利益、経常利益はともに期初予想14億円から25億円、当期純利益は10億円から16億円に上方修正いたしました。

下期は新たな業績予想の達成に向け、全社一丸となって事業運営に取り組んでまいります。

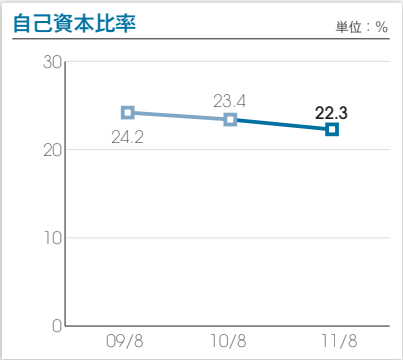
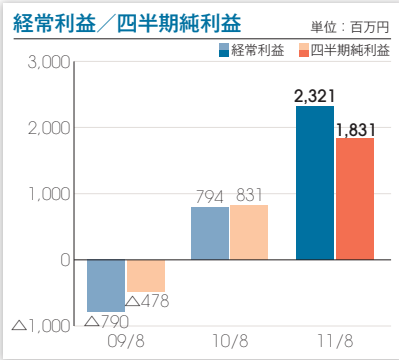
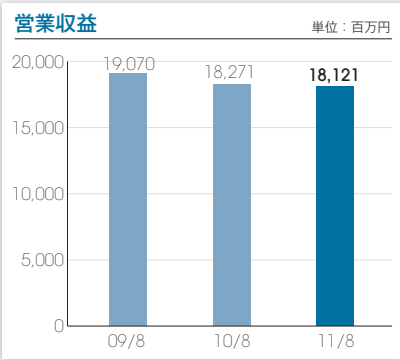
Financial Highlights

財務ハイライト

	第28期第2四半期 (09/3～09/8)	第29期第2四半期 (10/3～10/8)	第30期第2四半期 (11/3～11/8)
営業収益	(百万円) 19,070	18,271	18,121
営業利益	(百万円) △ 788	790	2,369
経常利益	(百万円) △ 790	794	2,321
四半期純利益	(百万円) △ 478	831	1,831
総資産	(百万円) 205,020	196,237	241,363
純資産	(百万円) 49,588	45,907	53,908
自己資本比率	(%) 24.2	23.4	22.3
1株当たり四半期純利益	(円) △ 8.08	14.04	24.25
1株当たり中間配当金	(円) 4.25	4.25	4.25

(注) 当社は、2010年3月1日に連結子会社であるポケット・ダイレクト(株)を吸収合併しています。また、2011年3月31日にファミマクレジット(株)を子会社化いたしました。そのため、第28期第2四半期、第30期第2四半期は連結業績数値を、第29期第2四半期は個別業績数値をそれぞれ記載しています。

3年間の業績推移



(注) 当社は、2010年3月1日に連結子会社であるポケット・ダイレクト(株)を吸収合併しています。また、2011年3月31日にファミマクレジット(株)を子会社化いたしました。そのため、第28期第2四半期、第30期第2四半期は連結業績数値を、第29期第2四半期は個別業績数値をそれぞれ記載しています。

ファミマクレジット(株)とファミマTカードについて

クレジットカード業界を取り巻くビジネス環境の変化に適応し、一層の事業拡大・企業価値の向上を図るため、平成23年3月31日付でファミマクレジット(株)を完全子会社化いたしました。

以下、ファミマクレジット(株)の会社概要や沿革、並びにファミマTカードの特徴や会員数の推移についてご紹介いたします。

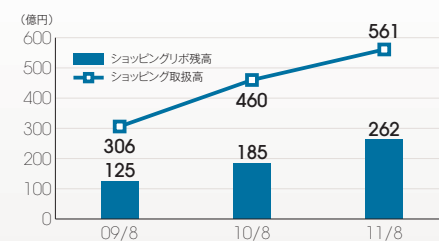
ファミマクレジット(株)について

会社概要

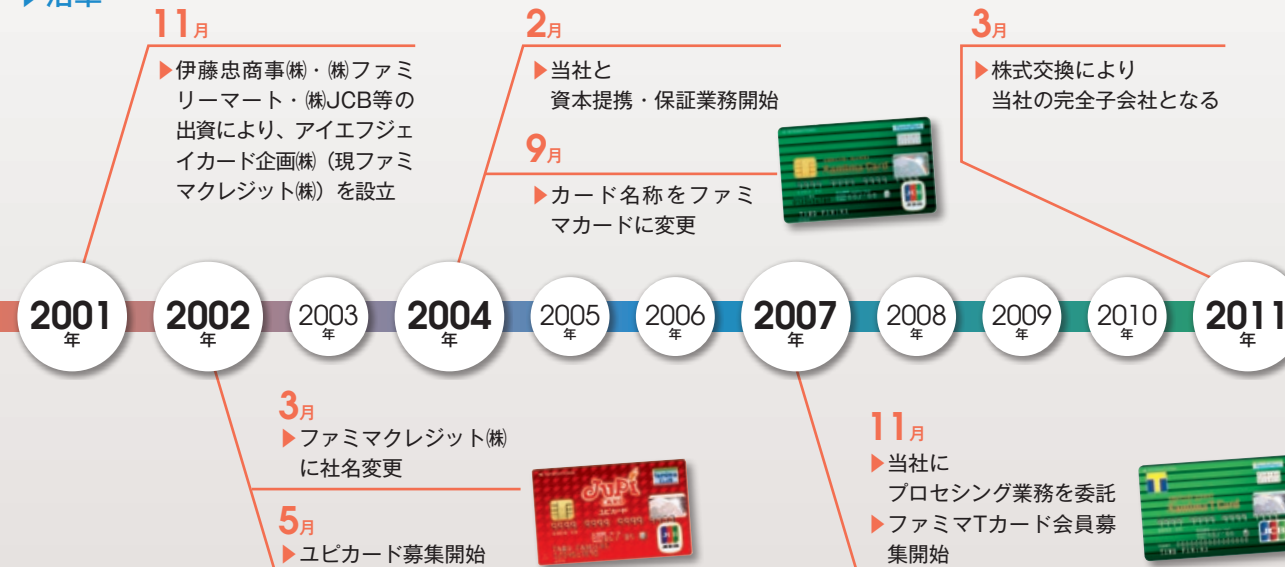
(2011年8月末時点)

会 社 名	ファミマクレジット(株)
代表取締役社長	浮海 正高
設 立	平成13年11月22日
資 本 金	5億円
事 業 内 容	クレジットカード事業

ショッピング取扱高 ショッピングリボ残高推移



沿革



ファミマTカードについて

主な特徴

ミニマム・ペイメント (最小支払額) 方式
毎月の最小支払額以上で支払額を自由に決定できる!

Tポイント

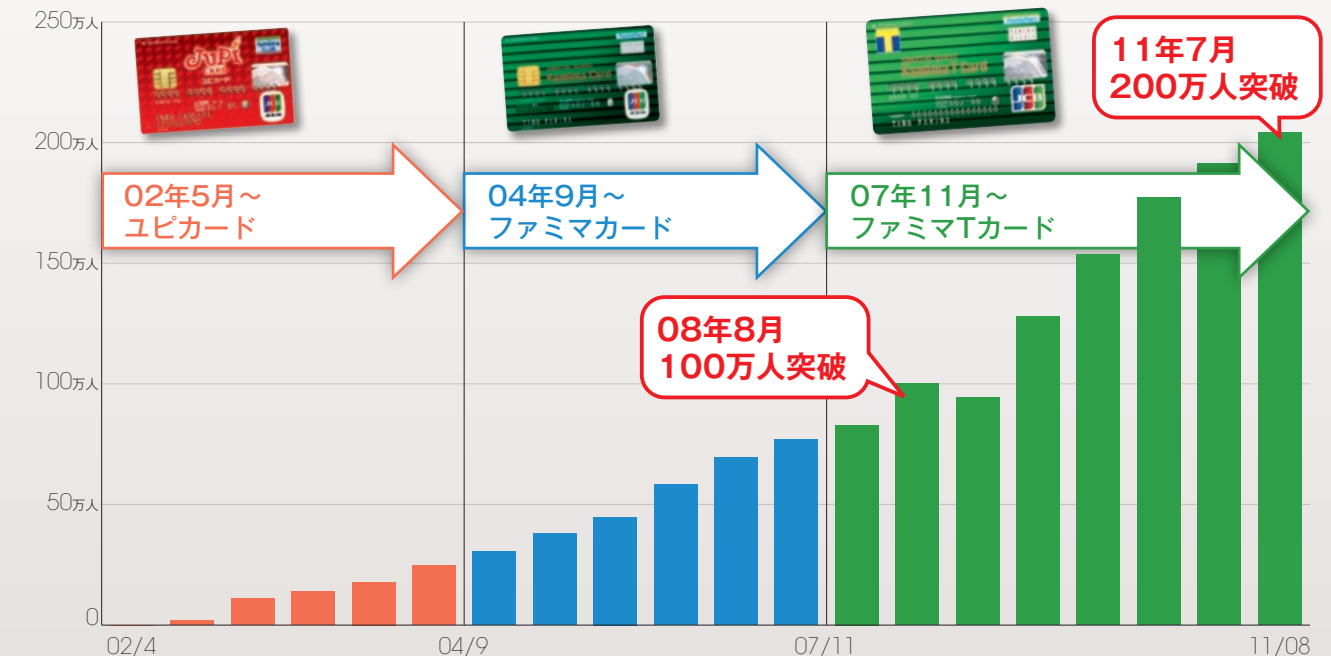
参加店舗35千店、会員数3,800万人を誇る
ポイントプログラム!

MMK入金

ファミリーマート店舗のマルチメディア端末
「ファミポート」での支払いが可能!



ファミマクレジット(株)の会員は順調に拡大、2011年7月には200万人を突破



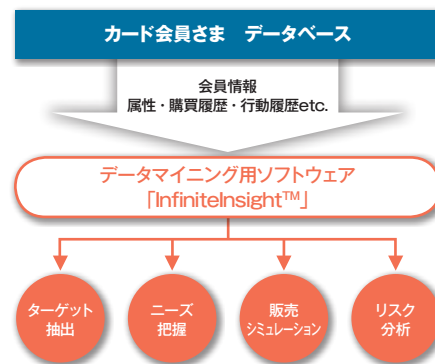
Topics 1

データ分析に基づく高精度なマーケティング活動に向けて
データマイニング用ソフトウェア「InfiniteInsight™」を導入

当社では、カード会員さまのニーズを適切に見極め、効率良く、高精度な販売促進活動を実現することを営業面の課題としてまいりました。

そのため、シンプルな操作でカード会員さまのデータを分析し、ニーズの把握やターゲットの抽出などを行うことができる米国KXEN社製データマイニング用ソフトウェア「InfiniteInsight™」を導入いたしました。

「InfiniteInsight™」は、データに基づいた客観的な意思決定や、膨大な利用動向の加工処理などを効率的に行うことが可能であり、今後は、お客さまへのサービス向上やマーケティングROIの最大化をはじめ、将来的にはリスク分析の分野での活用も進めてまいります。



Topics 2

若い女性に絶大な人気を誇るECサイト「夢展望」と提携した
業界最高水準の高還元率カード発行開始

当社では、流行に敏感な若い女性に圧倒的支持を受け「神的（かみてき）通販サイト」と形容される人気ECアパレルサイト「夢展望」と提携したカード「夢展望♥カードP-oneFLEXY」の発行を開始しました。

「夢展望♥カードP-oneFLEXY」は、月々のお支払い額をお客さま自身で設定できる「支払い自由型リボカード」であると共に、ご利用金額の1%が割引される「請求時1%OFF」特典や、ポケットポイント付与など業界最高水準の高還元率のおトクなカードとなっています。また、ティアラをモチーフにした可愛くお洒落な券面デザインは、「夢展望」の主要顧客である若年層のファーストカードとしての魅力を備えており、1日約300万件のサイトアクセスを創出するアクティブな「夢展望」会員約100万人に向けて募集を展開してまいります。



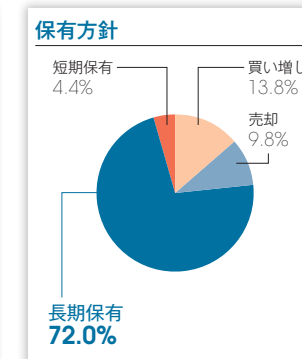
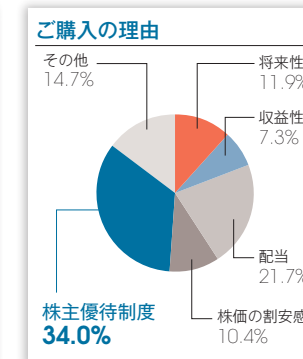
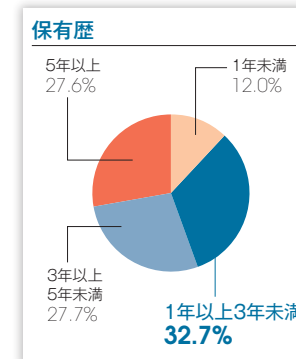
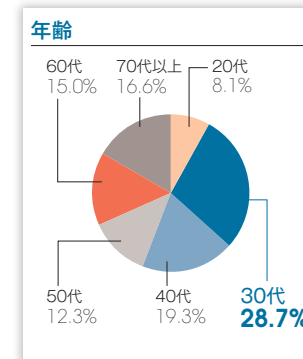
夢展望♥カードP-oneFLEXY

2011年5月末に実施しました株主アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

回答数は797件に達し、大変多くの株主さまからご意見を頂戴できましたことを、厚く感謝申し上げます。

ここに、ご回答いただきましたアンケート結果の一部をご報告いたします。

■ご回答いただいた株主さまの状況 [有効回答数：797件]

Q ファミマクレジット(株)との
合併に向けた取り組み状況はどうか？

A 2011年3月31日のファミマクレジット(株)の完全子会社化以降、来年度中の合併に向けてシステム統合、オペレーション統合、合併新会社における経営理念並びに経営戦略の策定、組織体制の統合など各種取り組みを進めています。上期までに主にシステム統合の要件定義など、合併の基礎となる業務を完了しており、来年度中の合併に向けて順調に進捗しています。

Q ファミマクレジット(株)との経営統合に
よるシナジー、業績へのプラス効果は
あるか？

A クレジットカード業界では貸金業法の完全施行以降、キャッシング残高の減少に伴う融資収益の減少が続いていますが、今回のファミマクレジット(株)との経営統合により、ショッピングリボ残高の増加に伴うショッピング収入の拡大、またキャッシング収入の減少幅を抑制縮小させることが可能となり、営業収益の安定的な成長を見込んでいます。さらに合併後は業務コストの効率化も期待できるため、安定的な収益確保に加え、中長期的には費用削減の進展に伴い、利益水準の拡大に大きく寄与していくものと考えています。

貸借対照表（要旨）

科 目	前期末(単体) (2011年2月28日現在)	当第2四半期末(連結) (2011年8月31日現在)
資 産 の 部		
流 動 資 産	173,531	229,948
現 金 及 び 預 金	7,453	8,446
割 賦 売 掛 金	64,866	115,980
営 業 貸 付 金	103,309	105,265
そ の 他	17,274	19,853
貸 倒 引 当 金	△ 19,373	△ 19,596
固 定 資 産	8,035	11,414
有 形 固 定 資 産	175	215
無 形 固 定 資 産	3,382	6,753
投 資 そ の 他 の 資 産	4,477	4,445
資 産 合 計	181,567	241,363

POINT

割賦売掛金

割賦売掛金は前期末に比べ511億14百万円増加の1,159億80百万円となりました。これはショッピングリボ残高が増加したことに加え、当期よりファミマクレジット(株)を連結子会社化したことによります。

(単位：百万円)

科 目	前期末(単体) (2011年2月28日現在)	当第2四半期末(連結) (2011年8月31日現在)
負 債 の 部		
流 動 負 債	96,263	129,259
固 定 負 債	39,158	58,196
負 債 合 計	135,422	187,455
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	46,132	53,904
資 本 金	11,268	14,374
資 本 剰 余 金	12,729	15,816
利 益 剰 余 金	23,433	25,013
自 己 株 式	△ 1,299	△ 1,299
評 価 ・ 換 算 差 額 等	12	3
純 資 産 合 計	46,145	53,908
負 債 ・ 純 資 産 合 計	181,567	241,363

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しています。

POINT

負債合計

負債合計は前期末に比べ520億33百万円増加の1,874億55百万円となりました。これは主にファミマクレジット(株)を連結子会社化したことに伴い有利子負債が増加したことによります。

損益計算書（要旨）

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期累計期間(単体) (2010年3月1日から 2010年8月31日まで)	当第2四半期累計期間(連結) (2011年3月1日から 2011年8月31日まで)
営 業 収 益	18,271	18,121
信 用 購 入 あ つ せ ん	4,766	7,651
融 資	10,512	9,238
そ の 他	2,992	1,231
営 業 費 用	17,480	15,752
営 業 利 益	790	2,369
営 業 外 収 益	10	7
営 業 外 費 用	5	55
経 常 利 益	794	2,321
特 別 利 益	380	490
特 別 損 失	27	51
税金等調整前四半期純利益	1,148	2,760
法人税、住民税及び事業税	413	6
法 人 税 等 調 整 額	△ 96	922
四 半 期 純 利 益	831	1,831

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しています。

POINT

信用購入あっせん

信用購入あっせん収益は前年同期に比べ28億85百万円増加の76億51百万円となりました。これは主にポケットカード単体におけるショッピングリボ残高の増加、並びにファミマクレジット(株)を連結子会社化したことによります。

POINT

営業費用

営業費用は前年同期に比べ17億28百万円減少の157億52百万円となりました。これは主に弁護士等による新規介入の減少に伴う貸倒関連費用の減少、各種コスト削減によるその他販管費の減少によります。

キャッシュ・フロー計算書（要旨）

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期累計期間(単体) (2010年3月1日から 2010年8月31日まで)	当第2四半期累計期間(連結) (2011年3月1日から 2011年8月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,547	△ 1,669
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 838	△ 2,003
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,060	6,067
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	△ 1
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	648	2,392
現金及び現金同等物の期首残高	7,692	7,453
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	551	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,892	9,846

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しています。

株式情報 (2011年8月末現在)

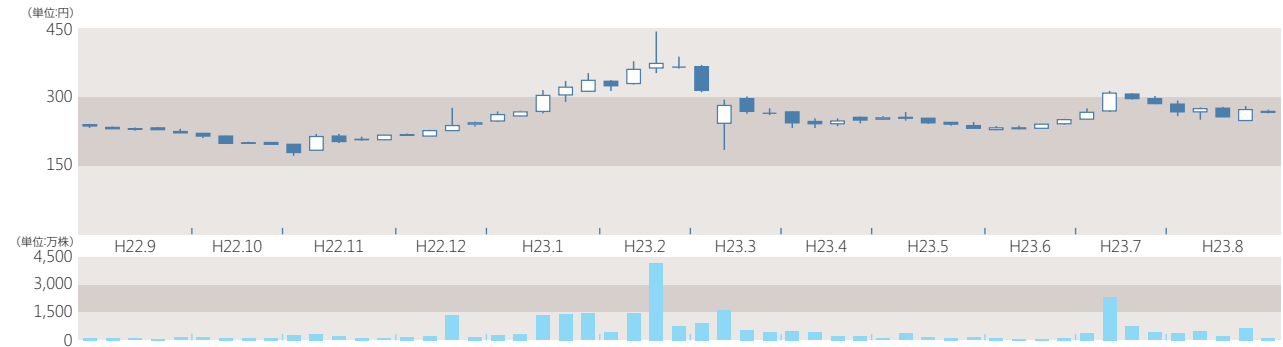
会社の発行可能株式総数	158,150,000株
発行済株式の総数	79,323,844株
株主数	11,817名

大株主の状況 (2011年8月末現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社三井住友銀行	27,788	35.03
伊藤忠商事株式会社	19,565	24.66
株式会社ファミリーマート	11,739	14.80
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) SUB A/C AMERICAN CLIENTS	2,780	3.50
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	2,050	2.58
伊藤忠エネクス株式会社	1,565	1.97
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	698	0.88
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) SUB A/C BRITISH CLIENTS	422	0.53
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	422	0.53
住友信託銀行株式会社	376	0.47

(注) 当社は自己株式 (1,071千株) を保有しておりますが、上記大株主からは除いてい
ます。

株価・出来高チャート



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末まで
定時株主総会	毎年5月
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎ 0120-176-417
(インターネット・ホームページURL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/ retail/service/daiko/index.html
単元株式数	100株
公告方法	電子公告 ただし、事故やその他やむを得ない事由によっ て電子公告による公告ができない場合は、日本 経済新聞に掲載いたします
金融商品取引所	東京証券取引所 市場第1部

【特別口座について】
株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構) を利用されていなかった株
主さまには、株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関である上記の住友信託銀
行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座について
のご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

会社概要 (2011年8月末現在)

社名	ポケットカード株式会社
英 文 名	POCKET CARD CO., LTD.
本店所在地	〒105-0014 東京都港区芝一丁目5番9号
電 話 番 号	03-5441-3450 (代表)
ホ ー ム ペ ー ジURL	http://www.pocketcard.co.jp
設 立	1982年5月25日
資 本 金	143億74百万円
従 業 員 数	418名
事 業 内 容	・ 割賦購入幹旋業及び割賦債権買取業 ・ 金銭貸付業 ・ その他

役員の状況 (2011年8月末現在)

代表取締役社長	渡 辺 恵 一
取締役副社長	三 浦 俊 一
取締役兼常務執行役員	渡 邊 博
取締役兼常務執行役員	塚 本 良 輔
取 締 役	杉 原 弘 隆
取 締 役	長 谷 一 雄
取 締 役	小 松 崎 行 彦
常 勤 監 査 役	市 瀬 友 洋
監 査 役	角 野 俊 樹
監 査 役	田 辺 則 紀
監 査 役	横 山 友 之
常 務 執 行 役 員	今 里 賢 治
執 行 役 員	湯 村 雅 喜
執 行 役 員	小 林 直 人
執 行 役 員	林 田 義 典
執 行 役 員	落 合 英 幸
執 行 役 員	今 村 和 義
執 行 役 員	池 田 一 彦

(注) 1. 取締役杉原弘隆、長谷一雄及び小松崎行彦は、社外取締役です。
2. 監査役角野俊樹、田辺則紀及び横山友之は、社外監査役です。

株主優待制度のご案内

◆優待の内容

毎年2月末日及び8月31日時点の当社株主名簿に記載された1単元
(100株)以上の株式を保有する株主さまで、当社の発行するカー
ドをお持ちいただいている方を対象に、保有株数に応じてポケッ
トポイントを贈呈いたします。

保有株数	贈呈ポイント
100株以上 200株未満	年間 250ポイント (1回あたり125ポイント)
200株以上 1,000株未満	年間 500ポイント (1回あたり250ポイント)
1,000株以上 2,000株未満	年間 1,000ポイント (1回あたり500ポイント)
2,000株以上	年間 1,500ポイント (1回あたり750ポイント)

※上記は年間(2回分)の贈呈ポイント合計です。
※当社が発行するポケット・ポイント・プログラム対応カードをお持ちの方が対象
です。(一部対象外のカードがあります)

◆お申込方法

毎年5月上旬に送付する株主総会招集ご通知及び11月上旬頃に
送付する中間報告書に同封する*「株主優待制度申込書」に、ポイ
ント贈呈を希望するカード番号等を記載の上、当社宛にご送付い
ただくことで優待制度にお申込いただけます。
なお、ポイントの贈呈は2月分については7月中旬頃、8月分につ
いては翌年1月中旬頃行います。

※株主優待制度の対象となる100株以上ご所有の株主さまのみにご送付してい
ます。

◆ポケット・ポイントプログラムについて

カードご利用金額1,000円ごとに1ポイントを付与。貯めたポイ
ントをステキな商品と交換いただけるポケットカード独自のポイ
ントプログラムです。

※ポイント交換商品は、毎年のポイント交換期間終了時に変更されます。前年度の
交換商品を翌年度に交換することはできません。

◆株主優待制度に関するお問い合わせ先

ポケットカードお客さまセンター
TEL : 0120-12-9255
携帯電話からおかけいただく場合は下記ナビダイヤルを
ご利用ください。
TEL : 0570-064-373 受付時間 9 : 00 ~ 18 : 00